シオノギ製薬

2013年2月20日

各　　位

会社名　塩野義製薬株式会社
代表者名　代表取締役社長　手代木　功
（コード番号　4507　東証・大証第一部）
問合せ先　広報部長　高木　浩樹
TEL　（06）6202－2161

InterMune, Inc. とのロイヤリティー支払いに関する訴訟の和解について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、米国カリフォルニア州サンフランシスコ所在の連邦地方裁判所において係属中であったInterMune, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、以下、IM社）とのロイヤリティー支払いに関する訴訟について、このたび、両社間の協議により和解が成立し解決に至りましたので、お知らせいたします。本訴訟は、当社がIM社に提供したpirfenidoneの臨床試験データをIM社がEUにおけるESBRIET®（pirfenidoneに対するIM社の商品名）の承認取得のために使用した対価として、両社間で締結した臨床試験データの交換に関する契約に基づき、IM社に対してロイヤリティーの支払いを求めていたものです。

本和解は裁判外紛争手続として成立し、その主な内容は下記の通りです。

1. IM社は、2013 年1月から2021年2月までのEUにおけるESBRIET®の売上高（正味販売額）の4.25%に相当するロイヤリティーを塩野義製薬に支払う。
2. IM社が米国およびその他の地域(EUを除く)における新薬承認申請に、当社のある一定の臨床試験データを使用しない限り、当該国におけるロイヤリティーの支払いは発生しない。
3. 係属中の訴訟を速やかに取り下げる。

Pirfenidoneは、塩野義製薬が日本において開発を行い、特発性肺線維症治療薬「ピレスパ®錠」として2008年12月より国内販売しております。一方、EUにおきましては、IM社が申請資料の一部に当社の臨床試験データを用いて承認を取得し、2011年9月よりESBRIET®の商品名で販売しております。

塩野義製薬は、他の知的財産と同様、当社の研究開発活動から得られたデータは当社の貴重な資産と認識しており、今回の和解内容は当社として満足のいくものであったと考えております。

なお、本件が今期業績に与える影響は軽微です。

以　上

［お問合せ先］塩野義製薬株式会社 広報部
大阪 TEL：06-6209-7885　　東京 TEL：03-3406-8164